

ISO9001 新規格研修会

2015年9月、ISO9001は、2008年版が大幅に規格改訂され、新規格改訂に移行しました。

この新規格改訂では、新しい構造、新しい品質マネジメントの原則、新しい概念を導入した、技術的な改訂となっております。

本日の研修会では、ISOシステムを改善する視点から、改訂の概要、移行マニュアル変更のポイントを詳細に判り易く解説することを企図した研修会を開催しました。

講師は、JRCA(日本規格協会マネジメントシステム審査員評価登録センター)QMS主任審査員の金先生にお願いしました。

開催日時	平成28年8月10日(水) 13時30分～16時45分	【当日の講義風景】
場所	コラボしが21 研修室	
講師	JRCA QMS主任審査員 金 泰成氏	
参加者	9名	
内容	「新規格の解説と移行 ・マニュアル変更のノウハウ」 ・2015年版改訂の共通ポイント(14001,9001) ・改訂のポイント(9001)	

【事務局のコメント】

ISO9001の改訂のポイントは2つあります。ひとつめは『統合化』。品質マネジメントシステムという考え方をさらに広げ、環境や労働安全などすべてのマネジメントシステムを共通の仕組みにまとめていくという発想になっています。そしてもうひとつは『汎用化』。改訂版では、サービス業など、どの業種でも利用しやすいようにすることを目指しています。

講義では、そのような内容を踏まえて、項目ごとに例えば、リスク(課題解決)は、解決したらどのようなプラスになるのか明確にする。また達成計画はより詳細につくる。そしてマネジメントレビューは、経営者の承認が必要など詳細な説明がなされました。

そして、参加者からの質問に対する回答でも、

1、新規格の教育訓練では、規格要求事項以外は会社で決める。

2、社内の内部監査は、時間や日数の要項次項はないので、会社で判断して力量があると認めた人がやったら良い。今回2015年版の新規格研修を受けた人には、そのために受講証書を発行するので、今日研修会に参加した人たちが会社に帰って、社内研修をしたら良い。

と、より具体的に懇切丁寧に金講師よりアドバイスがありました。ありがとうございました。

最後に参加者一人ひとりに受講証書を手渡しして無事研修会を終了しました。